

ゆめちき通信

228号

5月20日現在
 子ども会員：117人
 正会員：37人
 賛助会員：240人
 31団体



築城せよ!!



もくじ	築城せよ.....	06-07
しりがり.....	デイキャンプ.....	08-09
おとな塾.....	鑑賞部.....	10
第20年度通常総会.....	ティーンズ+.....	11
おめでとう!20周年.....	おめでとう!20周年.....	12

ゆまもと かずこの 知りたがりやトーク

GW も終わり、日常がもどってくるかと思いきや、コロナ感染拡大で、学校・幼稚園・保育所では、どこかのクラスがお休みになったり、試験が延期になったり、オンラインで授業して！と言われたり…。日常が取り戻せそうな、戻らなさそうな…今日この頃ですが、みなさんいかがお過ごしですか？

1年で最も気持ちがいい季節なのに、なんか嫌な感じ。東京さ行ってきた某アナウンサーは「東京はほとんど日常をとりもどしている感じだったよ！」と今朝のラジオ番組でコメント。都会に倣え！の県知事さん、なんとかしてよ！3年目に突入したじゃん。そろそろ別の基準を設けてくれないんじゃない？といろいろ不満はありますが、そんな中、YYY では元気を持って余している子どもたちと一緒に、2つの外遊びを実施。たくさんの親子連れが楽しい時間を過ごしました。(詳しくは6~9ページをご覧ください)

YYY は今年、設立 20 周年を迎えますが、沖縄は、5月15日で本土復帰 50 周年だったのだそう。中央は祝賀ムードのようでしたが、沖縄の人たちにとってはいかばかりかと。

そもそも沖縄は琉球王国という独立国だったものが、1609年、薩摩藩から侵攻を受け、その支配下に置かれます。また、1872年には琉球藩に、さらに1879年には反対する琉球の人々を軍隊の力でおしきる形で「沖縄県」つまり日本の領土である！とされました。と、私たちは日本史で習いました。その後、太平洋戦争では日本で唯一、凄惨な地上戦を経験、1972年の本土復帰までは、米の占領下に置か



れ、そして、半世紀が経過した今日まで、ずーっと基地問題を抱えているのです。

4月20日付沖縄タイムスによれば、復帰後(1972~2020年)で米軍人・軍属とその家族の検挙件数は6068件。うち、殺人、強盗、放火、強制性交等罪(旧強姦(ごうかん)罪)の凶悪事件は582件(沖縄県警まとめ)にもものぼるそう。一方16日付朝日新聞によれば、県民所得のおよそ5%は基地関連収入なのだから。

本土に暮らす私たちは、日常的に沖縄の人々の気持ちに寄り添うことは難しいように思います。ただ、ニュースで耳にする、日米同盟、日本の安全保障(本当に保障されるかどうかは、わかりませんが…)は、沖縄の人々の犠牲の上に成り立っていることくらいは、知っておくべきではないでしょうか。随分前になりますが、沖縄と同じように基地を抱える岩国の女性から話を聞く機会がありました。やはり、軍用機による騒音被害や米兵による凶悪事件のことなどを訴えておられました。話の終わりに「基地の7割を占める沖縄は、度々ニュースで取り上げられるから人々の関心が集まるけれど、岩国の声は、お隣、広島にさえ届かない！」と、残念そうだった彼女の顔が今も忘れられません。

Nextおとな塾

自治会が弱くなっている今、 中間社会は誰が担う？

講師：大藤文夫さん
(広島文化学園大学名誉教授)



【日時】6月8日(水)19:30~
【場所】生涯学習センター508
【参加費】1200円
※事前にお申込みください。

女と戦争

だから今、みんなで考えよう!

さて、今回も磯田先生と様々なことを考えました！テーマは「女と戦争」。日に日に悪化していくウクライナ情勢に歯がゆい思いをしている人も多いかと思います。私もその一人ですが、報道を見る中で毎回思うことがありました。そもそもなんでこんな事態に陥ってしまったのだろうか？ということです。

理由があったからと言って戦争は正当化されませんが、ロシアにはロシアの思いがありました。磯田先生によると、ウクライナの NATO 加盟のほか独ソ戦でドイツを破り国際秩序を作った国だという自負、ソ連時代の領土など、様々な原因が複合的に絡み合っていると考えられるとのこと、一筋縄ではいきそうにないのだなあという印象です。

その後、話題は戦時下での一般庶民について。空襲や徴兵など一般人も命が危険に晒されることは知っていました。他にも、戦争は命に直結することだけでなく兵糧として食物を駆り出されることによる飢え、教育の断絶、結婚の機会剥奪など様々な隠れた被害があるようです。中でも私が一番根深い問題だと思ったのは差別と徴兵についてです。徴兵制度は市民権や人権とセットにされる危険性があるとのこと。平等に徴兵を持ち出して適用するのは



講師：磯田朋子さん
(延辺大学(中国)(外国語学院・外籍教員))

明らかに間違っていますが、差別される側から積極的に兵役へ行こうという動きすらあるようでした。こちらでも戦争の原因と同じで複雑な問題だと思います。

今回、お話を聞いての学びは「何かを見ていると何かが見えなくなる」ということ。日本にもロシア侵攻の影響が及ぶのではというウワサもありますが、防衛費を増やすという政策は本当に良いと言えるのでしょうか？当初ウクライナ軍が動いたのも防衛のため。今も「防衛」という名の戦いは続いています。正論で言えば防衛だからと言って認められる暴力はありません。世界は思った以上に複雑、何か一つの側面を見て判断するよりは一呼吸おいて他の角度から考えたり様々な源から情報を集めたりすることが重要なのではと考えさせられました。

(芥川愛花里)

～新聞記事よりジェンダーニュース～

5/21 付朝日新聞にて『男女の賃金差 開示義務』という記事がトップに掲載されていました。

おとな塾で、戦時下、社会的に立場の弱い女性や子どもを取り巻く状況についての話がありました。

現代において、ジェンダー問題は、実は女性の賃金が上がれば解決するものも多いのではないかと、とうとう思っている人もいます。男性の子育て参画をもっと加速させるためには、合理的選択として女性の方がより多く育休を取って、結果キャリア中断せざるを得ないシステムに切り込む必要があります。社会的平等に向けての、第一歩となる法整備かもしれません。女性の賃金があがれば、ひとり親家庭の子どもの貧困率などの改善も期待できます。今後も要チェックですよ！！ (まゆまゆ)



第20年度総会



子どもたちが

縦の繋がり

横の繋がり

ななめの繋がりを持てる場を

子どもと一緒に作りながら、SDGsに取り組む！

第20年度通常総会を開催しました！今回は歴代最年少の議長、あかりちゃんの進行で議事を進めました。

「BOYS AND GIRLS BE AMBITIOUS！」をスローガンに活動を続けてきた YYY。その間呉市では、4年前の豪雨災害、長年地域で操業してきた大企業の撤退などで少子化がさらに加速しています。さらにコロナ禍での様々な対策により、子どもたちが気軽に多くの人と出会ったり、仲間と遊んだりする機会が減っているように感じています。

そこで、設立20周年を迎える YYY では、「子どもたちが 縦の繋がり 横の繋がり 斜めの繋がりを持てる場を 子どもと一緒に作りながら、SDGsに取り組む！」をテーマに今年の活動を進めていきます！今年度もますますのご支援ご協力をお願いいたします！

各部からはこのテーマに沿った事業が提案され、承認されました。20周年だから20事業！その中からすでに「築城せよ！」「デイキャンプ」については実施されましたので、各報告のページをご覧ください。続く18の事業についても、さっそく6月から

続々スタートします！どうぞお見逃しなく、一緒に盛り上げていく1年にしましょう！！



おめでとう!20周年!

毛利さんよりお祝いメッセージ

呉こども NPO センターYYY、20周年おめでとうございます!

NPO 法をみんなでつくって 23 年、事業承継に苦勞している NPO 法人が多い中、YYY の「ここがすごい!」と思うこと。

1. 変わらないこと

毎月送られてくる「やんちき通信」を見て思うこと。入学や卒業、夏休みやお正月、変わらないイベント、変わらない演目の舞台公演…。一見同じことの繰り返しなのに、時が変わり、人が育ち、出会いが変わり、新しいワクワク感にあふれている。生活の中に節目を作って、“基本的生活(イキイキした活動)習慣” がちゃんとできているということ。長寿の秘訣だと思った次第。

2. 学びあい続けていること

子どもたちが、進学したり、就職し、家庭をつくったり、社会人となっていくことが、YYY の活動や組織運営に深く組み込まれ、子どもと大人、市民と社会…。それぞれの立場で、さまざまな対話が生まれ、学びあいのコミュニティを形成している。

行政や企業や専門家をはじめ、普通の生活者の



方々を市民として迎え、政治・経済・暮らしのことを学ぶ機会をつくり続けるなど、子どもたちが「成人」になること、おとなになって入っていく地域、社会の仕組みや動きに自覚的であること。

3. 開かれたホームであること

YYY では意見や価値観の違いより「ともに生きる(育つ)」という共生感覚の方が強く表現されているので、間口が広く、誰もが参加でき、いつでも戻れる場になっている。まさに、拡張家族!

そして、補助金や助成金に依存することなく、足腰の強い財政基盤をつくり続けてきたこともスゴイ!

よくがんばりました。はなまるあげます!

毛利 葉

(公益財団法人とっとり県民活動活性化センター
理事長)

「YYY20周年、おめでとうございます!」



20年間、ずっと賛助会員を続けてくださっている藤井さん。ありがとうございます。



ゴールデンウィーク前半ということで、呉市外や県外から帰省した YYY メンバーがたくさん来てくれた。親になって子どもたちと一緒に参加したり、大学生、社会人になった子がスタッフしてくれたり…。そこへ今、活躍している大学生・高校生・中学生…が入り混じり、まるで同窓会！3世代で参加の家族もいっぱい。YYY20年の歴史を実感した事業でした。(久保直美)



事務所の電話がひっきりなしに鳴り響く。高校生“らな”の描いた魅力的なチラシの効果は絶大で申し込みの対応に追われるという嬉しい悲鳴！

今年度 20 周年を迎える YYY の周年事業として実施することを決めた「築城せよ！」

当日は待ちきれない様子で開始 30 分前から次々おや子がやって来る。オープニングのクラッカーの合図で、はじまりはじまり…。2 チームに分かれて作った。

まずは箱づくりから。ダンボールを組み立て、ガムテープを貼る作業が意外に子どもにとっては難しいんだ～。ガムテープを手で切れない子が多いのは知っていた。が、フタをする順番がわからず苦戦することに驚いた！でもそこは子ども！コツをつかむと嬉々としてテキパキ組み立てていく。組み立てに集中する子がいるかと思えば、運び屋さんをする子も。たくさん運ぶにはどうしたらいいか考えている。そして積み上げるのも、どこに置けば崩れないか、思い通りの形になるか…。うまくいった時の満足そうな顔！マスク越しでも嬉しそうなのがわ

かる。その顔に出会いたかった。コロナで色々な体験の場を奪われてしまっていた子どもたちに、思いっきり遊べる場をつくろう！と企画したこの活動。そう！参加者のみなさんの、そしてスタッフのみんなの、その顔を見たかったんよ！

1 日目はみんなで協力してひとつのデッカイ城を作ったチームと、一緒に参加した友達や家族ごとに小城をいっぱい作って陣地を広げていったチーム。

2 日目はどちらも 1 個の大きなお城をつくり、最後には道をつなげて合体！

4 トントラックで運んだダンボールを全部使い切り、お城を建てた！城が 2 つ建ったらそりゃ合戦じゃろ、ってことでじゃんけん列車でそれぞれの城の大将(キング?)を決め、大きな旗を立てる権利をかけて最終決戦。チームが勝った時にびよんびよんと跳ねて喜ぶ子、思わず拍手をする子。その後は、自分の小旗をつくり、城に飾って大満足。

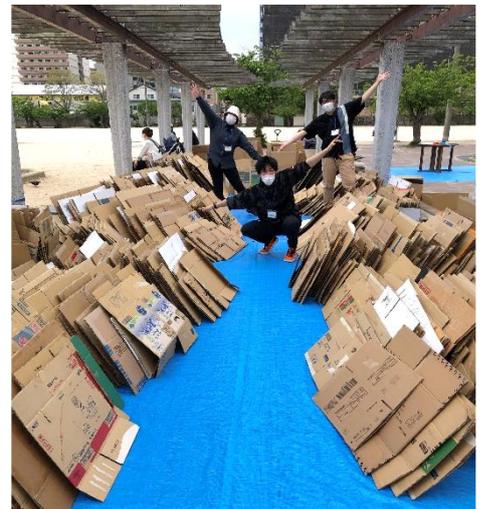
両日とも太陽の日差しが強く、熱中症の回避のため早めに終えた。雨が予想されていたけど、いいお天気でホントに良かった。「神様ありがとう」。



社会人・大学生の息子たちと母さんの親子3人でスタッフ参加の藤井家。YYYとは長男が小学1年生の時からのおつきあい。今、息子たちはそれぞれ独り暮らしだが、前日実家に帰って来て「子どもたちにどうやって接するか」と酒を飲みながら語り合ったそう。次男は飲みすぎてゲロゲロ。でも次の日は元気にうま〜く子どもたちと関わってくれてました。

2日目には、資材置き場を進化させて、まるで小さな店のよう。さすが！

終了後に大学生の次男くんから「やっぱり YYY は楽しいなと思いました」とラインが来ました。スタッフも楽しめて進化する！それが YYY。





天気は晴れの予報だし、前日の荷物準備も終えて安心して眠れるはずだった。。しかし一人で火起こしをやったこともないのに初のかまど係、さらに他のかまど係が急遽 2 人欠席だって！係の仕事内容(ヒント)を読んでも、かまどの間隔、かまどや飯ごうの数がわからない。過去の写真を見てもわからない。今まで人任せにしてたからだ、と夜中に気付く。でも、とにかく 100 人分のみんなのごはんを炊きたい。

当日、スタッフに応援を頼んで、かまどに集まった参加者をチーム分けし、なたやマッチを安全に使うよう説明。経験がある参加者を中心に火起こしをしてもらうようにした。どうにか火を起こすとお米係が飯ごうを持ってきた。「家は炊飯器だから火加減は分からない。」とお母さん。炎に包まれ沸騰して吹きこぼれるのや、シーンとした飯ごうもあってみんなで音を聞いたり、つつき回したり。参加者のお

母さんに「赤子泣いてもふた取るな」と止められたが、そんなこと言われず、終いには一緒になって全部何回も開けて目視した。「長い事やってなかったけど、火がついてよかった。」とお父さん。出来た飯ごうをひっくり返して新聞紙でこする声掛けのタイミングが、今回、初めて分かった。「どのくらいこするんですか?」「なんで、こするんですか?」とか、いい質問まで出てうれしかった。

米が炊けて「いただきます」の声がかかっても、何人か残って炭を片付け、いっぱい働いた。おいしくカレーを食べてやっと安心した。

振り返ると、とにかく余裕がなかった。マキは乾かした方がつきやすいとか、説明したらよかった。ちょっとあせる大人の側で「まきを持つ左手が危ない!アワワ」とまきを割り、「マッチの頭を下げたら火が昇る!」とマッチこすりもした。

初めてかまどと向き合った感じがした。

(屋敷こずえ)





らなんと2人で司会してました、あいです！

今回は直前まで人数変更があったり、急にスタッフが来れなくなったり大変でした。

まず、事前準備に相方が来なくて、打合せの時間が足りなかった💦その分、司会原稿作りを頑張りました。なんと、スマホのWordやメモに、音声入力という超便利な機能を見つけて超時間短縮!! 皆さん活用していきましょ(`・ω・`)ｷｯ

前日の買い出しは100人分の材料の爆買い!! 野菜の値段が高くてビックリしました! 一緒に行ったら、お菓子とか好きな選べるよ(笑)

今回はとくにレクリエーションが好評だったと聞きました。お世辞でもめっちゃ嬉しいです! 去年と同じく、謎解き宝探しゲームをしました。全体の流れは変えていませんが、工夫したことがありま

す。宝探しで見つけた宝の紙に、去年は謎解き用以外は「ハズレ」とかマイナスの言葉を書いていました。しかし、今年は全ての紙にプラスの言葉やイラストを書いてもらいました。その方が宝を見つけた人も見つけてもらえた人も嬉しいのではないのでしょうか?

空いた時間は写真を撮ってました。参加者のみんながとても真剣で良い表情でした。スタッフに面白いポーズをしてと無茶ぶりしたらめっちゃ面白い写真が撮れました!

そういえば、結局一回も軍手を使わなかった。もはやファッションやった(爆°▽°笑) デイキャンプ、今回も色んなことがあって楽しかったです!



キャサリンより、2つ📖体験の報告。

1つ目はカレー担当をしたこと。長年(?)司会ばかりしていたので、なんと初! 料理を日頃やってないのでGoogleで「カレー作り方」検索。するとざーっといっぱい出てきた。野菜の切り方からもう、みじん切りとかいちょう切りとか様々。ということは、大体で良いんだわと解釈し、画面閉じた。

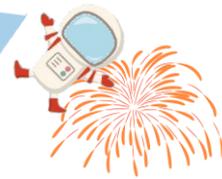
当日、切り方の見本を、玉ねぎは大きく、人参は嫌いだから薄く切っていると、「玉ねぎはもっと小さく、人参はもっと大きく」とのツッコミが(笑) 子ども達の方が丁度良さそうな大きさに切ってる。家でやってるんじゃ〜。じゃがいもの皮むきをシャーシャやってるパパさんがいたので「鮮やかですねえ〜」と声かけると、隣にいたママさんが「家でもやるんですよ〜」と嬉しそう♥来年のデイキャンプで「キャサリンの手つき鮮やか〜」と言われるよう家で頑張ってみようかな(やらんとと思うけど)。

2つ目はレクへの参加。これまではアンケートに「レクが楽しかった」とあるのを見て、楽しんでもらってえかったな、くらいだった。今回は謎解き宝探し。紙が30枚あるかを女の子が数えている最中、横から紙を取り、数えてない側に入れる子とか、話かけられ数がわからなくなりまた初めから数え直したり。宝の紙をくしゃくしゃっ、と丸めたけど、なぜか広げて「こんなにグチャになった〜」と見せあって嬉しそうにまた丸める。普段でも紙を丸めることなんてありそうなのに、何がそんなに嬉しいのかわからないけど、こっちまで紙を丸めることが楽しくなる魔法にかかったようだった。

2つの📖体験から、一人でやれば作業だけど、色んな人が集まってやるとワクワクする遊び感覚になるのかなあ、と感じた。よー笑ったし。心身ともに初夏のように爽やかになって帰宅できた。



20周年プロジェクト発信!!



今年度は、まん延防止で延期となっていた『人形芝居「キナコちゃんとダンス!」』からのスタート!! 2月公演に向けて準備をしていたので、延期になった5月なら余裕で公演日を迎えることができる…と思いきや、そうは問屋が卸さない。協賛広告のお願いに駆けまわり、6月の「Rue de Valse ライブ」と「白Aのワークショップ」のチラシやポスター作りに、学校配布。夏休みから始まる「星空映画会」の上映作品を試写して決定、会場押さえの学校巡りなどなど、怒涛のようにやるのが押し寄せてくる。しかしそこはYYYスタッフ、アタフタ・ワヤワヤしながらも、楽しみながら活動中!!

YYY20周年は、「つなぐ・つながる・YYY(^^)!!」をテーマに、みんなで盛り上げていきます。

生の舞台は、ワクワク・ドキドキが止まらない♥想像力も膨らみます。

今年も楽しい!! おもしろい!! 元気が出る作品をいっぱいお届けします。みなさん、お見逃しなく!!

今年のラインナップはこちら!

Rue de Valse LIVE2022 6月11日(土)



YYYでの公演は、今回が3回目。心地良いサウンドで、ヨーロッパを旅してみませんか!?

20周年記念「YYYオリジナル song」を初披露!! こりゃ、聞かっきゃないでしょ!!

吉本興業 110周年感謝祭

西川きよしのコツコツ全国ツアー

2023年1月29日(日)

芸能生活60周年を記念して、「西川きよし」が、COWCOW・ダイアン・アインシュタイン・シソンヌ・ミルクボーイ・太平サブロー・藩飛礼を引き連れて、呉にやってくる!!

笑いでコロナを吹き飛ばそう!! チケットは、9月からYYY先行販売です♪ 良い席はお早めに!!



人形芝居ひつじのカンパニー キナコちゃんとダンス!!



9月の舞台に先立ち、
6月19日(日)
白Aワークショップ

ワークショップでは、光のキャッチに挑戦!! 9月は本物のパフォーマンスを鑑賞!! 「これってマジック!!」観る人を虜にする「プロジェクションマッピング」を駆使し、「パフォーマンス」と「テクノサウンド」を融合させた近未来型エンターテインメント! まずは、YouTubeを観てみて!!

9月14日(水)



夏休み星空映画会

7月下旬~8月上旬

夜の学校は、ドキドキ♡ワクワク。星空の下、巨大スクリーンで観る映画は、格別!! 今年、「ボスベイビー」を上映します♪

NPO 法人あそび環境 Museum アフタフバーバン

忍者まちを走る! 11月6日(日)

今年も、やるよお~忍者修行!! おとなも子どもと一緒に本気で遊ぶ。午前中に受講するバーバンのスタッフワークショップのファンも多い。

ティーンズplus

気楽なペースで

美術館・博物館めぐり

本当に年々時間の経過を早く感じるようになってきました。この前、春の長期休校が終わったばかりかと思えば、ゴールデンウィークさえも風のように過ぎ去っていきました。大学に入学してもうすでに一年が経過しているという事実。三年後にはおそらく就職しているはず、そう思うと余計に時間の経過と恐ろしさを感じます。昨年一人暮らしを始めて、自分で家事をするようになったという文章を書かせていただきましたが、その時より、家事を生活の一部として、自然体でやっているのではないかなと思います。

大学生活にも慣れてきて、遠隔での講義が多かった昨年よりは、大学に行き対面で講義を受ける日数も増え、やっと大学生になったという感じがします。ただ学祭などはまだ開催されておらず、大学では部活動を除いては勉強以外のことはできていないことには不満があります。

また休みの日はというと、あまり遊びに行くことができていないのが現状です。昨年の12月から資格の勉強を始めて、大学の講義+資格の勉強という生活が続いているので、週末は家や大学の図書館で

勉強をすることが多く、どうしても遠出しようという気が起きないのです。それでもせっかく福岡ににいるのだから何か特別な体験をしたいと思い、美術館や博物館に足を運ぶようになりました。私の興味を引くような展示がたくさん企画されて



いるので、その都度、展示内容を検索するのも、ちょっとした楽しみです。今のところ大学内に美術館・博物館巡りに付き合ってくれる人がいないので、少し寂しい気分にもなりますが、館内ではあまり話せないし、自分のペースでゆっくり回りたいので、一人の方が気楽かもしれません。

最後に、一年を振り返ってみると、学祭や遊びなどに未練がたらたらあるということに気づきました。なので今年は、あつという間の大学生活に悔いが残らないよう、勉強もしっかり進めつつ、長期の休みの際には全国各地に散らばった友人のところに遊びに行ってみようと思います。(松本和馬)

何をやるも自由!! ~ひとり暮らしの醍醐味~

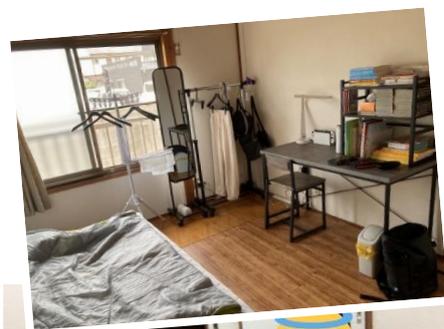
どうも、この4月から岡山理科大に通うことになった上田海晴です! 1人暮らしを始めたのでそのことについて書いていこうと思います。

やっぱ、何やってもいいところがいいですね! 最近は高校の友達を泊めてピザパしたり Switch したりしました! 学校終わりに映画を見に行けるし、1日中ゴロゴロしてても誰にも怒られません笑。暇があれば大きめのイオンに行って時間を潰すこともできますし、本当に自由度が最高です。人生初めてのバイトだったり家事だったり新たに経験することも多くとても楽しいです! 分からないことは Google 先生ですぐ解決法を勉強できるし、ほんとにいい時代だなと思います笑。暇潰しで Switch や漫画を持ってきたんですけど、ほとんどインテリアになってます笑。それだけリアルが楽しくて大変で過去1「生きてる」って感じています。(ちなみに漫画はワールドトリガー。最高におもしろいです。)

1ヶ月1人暮らしをして1番思ったことは、「主婦の皆さん毎日日本当にお疲れ様です。」ということです笑。僕はワンルーム6畳のアパートに住んでい

ます。部屋やトイレその他諸々の掃除やご飯の用意、洗濯などの家事を1人で全部こなすにはかなりの時間を要することを体験しました。自分で試みて、全国のお母さんがどれだけ苦労しているかが少しだけ分かった気がしました笑。

大学もサークルもバイトも1人暮らしも何もかもが始まったばかりですが、大学の勉強も含めて両立させて頑張ろうと思います! ではまた!



おめでとう!20周年!

さおぼんよりお祝いメッセージ

YYY20周年おめでとうございます!

おやこ劇場の時から20年以上お世話になってます。小学生の時から色んなイベントに参加していて、特に覚えるのはこども市とキャンプ😊こども市では友達と何のお店をするか、どうやって作るか、店番の順番とか色々決めるのが楽しかったな〜😁たまごっちが流行った時は景品に「たまごっち」出そうや!って話して、ゲームした後でゆで卵に「ち」ってマジックで書いた「たまごち」を出したり(笑)普段あんまり喋らん謎の多い父さんが、段ボールで器用に電撃イライラ棒とかワニワニパニックを作ってくれて、父さんってとにかく器用で頼りになる!ってその頃から思えたのはそうゆうイベントがあったけんかな。

キャンプは言わずもがな夏のキャンプなんじゃけど、小学生の時はカッコいい高校生や青年のお兄さんお姉さんにすごく楽しませてもらって。3泊4日のロングキャンプをしたこともあったし、ポケットがガサガサして虫が入るとるー🐛って大泣きし



て大騒ぎしとったらアメのゴミ入とったり、キャンプファイヤーでたくさん踊り教えてもらったり。聞いたことないラム肉のシシカバブーが晩ご飯のメニューになっとった時は、一緒にキャンプに来てた河辺家の犬のラムちゃんを食べるんか😭って勘違いしたり。すごい楽しい夏の一大イベントだったけん中高生になって自分も実行委員をやり始めたんよね。毎年テーマやご飯のメニューとかレクを考えたり、しおりを作ったり、実行委員で集まるのが楽しかった!違う学校の友達ができたり世界が広がった感じがしたな。

大人になった今、こどもを連れて参加しています。やっぱり大人数でするイベントってすごく楽しい!4月の『築城せよ』も、公園であんな大量の段ボールで城作るなんて、個人じゃできんよね。3歳の長男も楽しそうに段ボール箱積み上げたりガムテープ貼ったり剥がしたり、またあれやりたい!って家でも段ボール箱見るたびに言うてる(笑)

5月のデーキャンプも人参の皮を剥いて切って、かまどの火に拾った枝とか葉っぱ入れさせてもらったり、カレーもめっちゃ食べた😋帰ってから「今日行ったの何?」って聞かれて、デーキャンプよって答えたら、「デーキャンプまた行く!!!」って大きい声で決意表明してくれた😋イベント行くたびに、まだ3歳じゃけんちゃんと参加できんでもしょうがないしそれなりに楽しめばいっかって思うけどそれを覆すくらいの楽しみよう😋こんなにできるようになっとるんじゃ!?わかるようになったとるんじゃ!?楽しかったんじゃ!?嬉しいんじゃ!?の連続。

そんなこども達を見てるとこっちも楽しい嬉しい。これからもこども達と色んなイベントに参加して楽しみたいです♪ (さおぼん)

■発行日:2022年5月25日(毎月1回発行)■発行責任者:米本美千恵

■発行元:特定非営利活動法人 呉こどもNPOセンターYYY 〒737-0051 呉市中央3丁目11-12PANビル3F

■連絡:0823-24-5646■WEB:<http://kure-yyy.org>